UT Group
Upward Together

2026 年 11 月 13 日

各　位

会社名　　ＵＴグループ株式会社
代表者　　代表取締役社長　外村 学
（コード：2146 東証プライム）
問合せ先　　執行役員　サービス基盤部門長　山田 隆仁
電話番号　　03(5447)1710

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2026 年 5 月 14 日に公表しました 2027 年 3 月期（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）の通期業績予想及び配当予想について修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1.　通期業績予想の修正

（1）　2027 年 3 月期　通期連結業績予想値の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	170,000	10,000	10,000	6,100	10.70
今回発表予想（B）	172,000	11,000	11,100	7,100	12.46
増減額（B－A）	2,000	1,000	1,100	1,000	1.76
増 減 率 （ ％ ）	1.2%	10.0%	11.0%	16.4%	―
ご参考:前期実績	166,855	10,613	10,831	7,117	12.37

（2）修正の内容

当期の事業環境は、特に半導体関連領域において、AI 関連投資の拡大を背景に、半導体メーカーや半導体製造装置メーカーの生産活動が活発化し、人材需要が拡大しています。

こうした環境のもと、当社グループでは、拡大する人材需要を着実に取り込むため、採用活動の強化や顧客企業との単価・取引条件の交渉に注力しており、これらの取り組みが奏功し、半導体関連領域の売上拡大が増収を牽引しています。加えて、2026 年 9 月に実施したトゥエンティファースト株式会社の連結子会社化に伴う売上高の増加も寄与することから、通期の連結売上高は期初公表予想を上回る見込みとなりました。

利益面におきましても、増収に伴う売上総利益の増加に加え、採用効率を重視した採用活動により、募集費を抑制しながら人員の増加を実現しており、販売費及び一般管理費が想定を下回る見込みであること

から、当初予想を上回る見込みです。

以上の結果、売上高並びに営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益のいずれにつきましても、期初公表予想を上回る見込みとなったため、通期業績予想を上方修正いたします。

2. 配当予想の修正

（1）修正の内容

	年間配当金（円）				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期　末	合　計
前　回　予　想			未定	未定	10.23
今回修正予想			未定	未定	11.87
当　期　実　績	3.77	2.66			
前　期　実　績（2026 年３月期）	2.68	2.97	2.60	4.00	12.25

（注）年間配当予想については、2026 年 9 月末時点の発行済株式数、及び自己株式数（社員向け株式交付信託の保有する当社株式、2026 年 9 月末時点：24,502,600 株を除く）に基づき算出しています

（2）修正の理由

当社は 2025 年 11 月に公表した中期経営計画期間（2026 年 3 月期から 2029 年 3 月期まで）の配当性向については、親会社株主に帰属する連結当期純利益の 100％以上、かつ一株当たり配当金額の下限は 10 円として業績に連動した利益還元を行い、安定的な配当の維持に努めることを基本方針としています。

上記の基本方針に則り、2027 年 3 月期の業績予想の修正により、年間配当予想を期初予想の 10.23 円から 11.87 円へと増配修正いたします。

なお、実際の配当金額につきましては、自己株式の取得状況、及び新株予約権の行使状況等を踏まえ、上記の配当方針に基づき、各四半期において決定する予定です。

※上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上